

PDA-FMT6BK・W



FMステレオトランスミッター

- 最初にご確認ください。
- FMステレオトランスミッター……………1台
 - 車載用シガーアダプタ……………1個
 - 取扱説明書……………1部
 - 保証書……………1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。 サンワサプライ株式会社

はじめに

この度はFMステレオトランスミッター(PDA-FMT6シリーズ)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
読み終わったあとも、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全のために

▲ 自動車運転中に操作をしないでください。必ず安全な場所に駐車してから行ってください。

- 万一、異常な臭いが出たり、通電や煙が出たら、安全な場所に車を止めシガーライターソケットから本製品を抜き取ってください。
- 本製品を分解して内部の部品に触れないでください。感電の危険があります。
- 運転操作やエアバックの妨げになる場所に取付けしないでください。

使用上のご注意

- 交通安全のため、自動車運転中の操作はおやめください。必ず安全な場所に駐車してから行ってください。
- 本製品の使用に際し、走行中の事故等が発生した場合について、弊社では一切の責任を負いません。
- 本製品の使用に際し、接続機器及び自動車を破損した場合について、弊社は接続機器、自動車の保証はいたしません。
- 本製品は、デジタルチャンネル方式を採用しています。ご使用場所によってはFM放送局の周波数と重複している場合は、周波数を切り替えてご使用ください。
- 自動車のアンテナの位置や使用環境(電波塔の近く等)により音声が明瞭に再生できない場合があります。
- キーを抜いてもシガーライターの電源が切れない車種では、車から離れる場合は必ず本製品をシガーライターソケットから抜いてください。

使用上のご注意 (続き)

- 車種によりシガーライターソケットから電源を取るとオルタネータ等からノイズが入る場合があります。製品の不良ではありません。
- シガーライターソケットの種類によってくつきがある場合があります。
- ご使用後は、本製品のプラグを必ずシガーライターソケットから抜き取ってください。
- 車か急ブレーキをかけた際に、接続機器が動かないように固定してください。
- 一部の外国車で国産車シガーライターソケットの形状が異なる車種ではご使用できません。
- 直射日光のある車内など高温になる場所に放置しないでください。
- 本製品は運転中の支障とならないように設置してください。
- お客様の誤った取扱いにより生じた障害等に関しては保証いたしかねます。予めご了承ください。

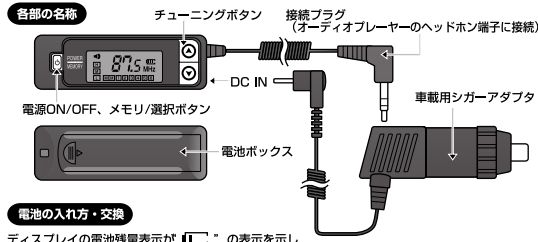
保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、当社指定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。2次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1) 保証書をご提示いただけない場合。
 - (2) 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3) 盗難の事故を取り扱えない不平等による場合。
 - (4) お客様による輸送、移動中の衝撃による場合。
 - (5) 天災地災、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた嵐害、隣部の損害については当社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破壊については保証はいたしません。
- 本製品は発熱部、熱力放散部や機器、熱字部、電池放散部や構造などの人命に類する故障や損傷、及び異常な動作を生じさせる故障やソフトウェアの不具合や劣化は保証されません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いません。
7. 保証期間が満了後、またはご持参される場合の修理費用は、お客様ののご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

1

2

各部の名称



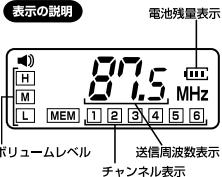
電池の入れ方・交換

ディスプレイの電池残量表示が「」の表示を示したら電池の交換時です。下記の手順で電池を交換してください。

① 電池ボックスの蓋を開きます。



② 単4型電池を電池ボックス内の表示に従い、+/-の方向を正しく挿入してください。



表示の説明

電池残量表示

ボリュームレベル

送信周波数表示

ご使用方法

基本的なご使用方法

- ① 本機の接続プラグをオーディオプレーヤーのヘッドホン端子に接続します。
- ② FMラジオの送信周波数をFM87.5MHz～107.9MHz(日本の場合は87.5MHz～90.0MHz)の範囲の中で放送を受信していない周波数にセットします。
- ③ 本機の電源ボタンを約2秒押しして電源を入れます。チューニングボタンで本機の送信周波数を②でセットした受信周波数に合わせます。
- ④ オーディオプレーヤーを再生します。
- ⑤ 音声が聞こえづらい場合や、ひずんだ音がある場合はFMラジオとオーディオプレーヤーの音量を調整してください。※本機の設置場所により、ノイズがでたり、受信しにくい場合がありますのでその際は設置場所を変更してください。

チャンネルメモリ方法と選択方法

- ① 本機の電源ボタンを約2秒押しして電源を入れます。
- ② 本機のチューニングボタンで送信周波数をセットします。
- ③ メモリ/選択ボタンを押します。
- ④ [MEM]が点滅している間に、チューニングボタンを押して記憶するチャンネル[1]～[6]を選択します。
- ⑤ 再度メモリ/選択ボタンを押すと、その周波数が記憶されます。
- ⑥ 設定したチャンネルを選択する場合は、メモリ/選択ボタンを押すと[1]～[6]→[1]→[2]→[3]の順で表示されます。

※電池交換時や電源のON/OFF時、設定されたチャンネルは消去されません。再び電源をONにしたボリュームレベルについて

- 音楽再生中にオーディオプレーヤーのボリュームレベルが表示されます。
- [1]～[6]が点滅している間に、チューニングボタンを押して記憶するチャンネルを下げてください。
- [1]～[6]が最大です。
- [1]～[6]が最大です。[1]になるまでボリュームを上げてください。

本機の電源について

- シガーライターソケットを利用して電源を取る場合は、付属の車載用シガーアダプタをご使用ください。
- 電源をONにしてから何も操作を行わない場合は、約10秒で液晶表示が消えます。
- 電源をONにしてから何も操作も行わない場合や音声が入力されない場合は約15分後に本機の電源がOFFになります。



ご質問、ご不明な点がございましたら、ぜひ一度、弊社ウェブサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライズセンター / 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サプライズセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目2-7 マンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 3栄ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市守区神宮1-6-7 カジヤビル1F ☎052-453-6031 FAX.052-453-6033
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市西区富町4-1-4 5新大塚ビル ☎06-395-6310 FAX.06-395-6315
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-20-2 博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
 金沢 / ☎076-222-8384

2006.08現在